


クラス	102	担当教員	えんどう ひで き 遠藤 秀紀
	テーマ	経済学と都市	
	著書・論文 研究課題等	著書・論文・研究課題等: [論文] "Effects of Attitude and Background on Personal Financial Ability: A survey in the United States", (with K. Chinen), <i>International Journal of Management</i> , Vol. 29(2), pp. 778-791, 2012. 「コンパクトシティと介護サービスー施設・事業所の立地と課題」、『新都市』、第64巻第9号、44-47 ページ、2010年。 "Employment Status and Financial Insecurity," in K. Kondo ed., <i>Health Inequalities in Japan: An Empirical Study of the Elderly</i> , Trans Pacific Press, 2010.	
ゼミナール 概要			
キーワード：都市 土地・住宅市場			
<p>目的、内容、方法等：</p> <p>【目的と内容】 生まれた場所の 20 年前と今を比べてみましょう。「変わったな」と感じる人、「何も変わっていない」と感じる人、その原因はどこにあるのでしょうか？街並みが変わるのも変わらない（変わらない）のも、それなりの理由があるはずです。 また、街並みが変わったからといって、必ずしも生活環境のすべてがよくなるとは限りません。地域は活性化したが治安は悪化したとか、都心部への交通の便はよくなったがラッシュアワーの混雑はひどくなったとか、企業を誘致して経済基盤を安定させたところが公害に悩まされるとか……。</p> <p>このゼミでは、都市の社会環境がどのような活動に影響を受けて変化するのか、また、その先にはどんな楽しみと厄介ごとが待っているのか、経済学の視点で考える力を養いたいと思います。そして、その考えが現実的であるかどうか、統計データとパソコンを用いて検証する技術も培ってもらおうと思います。</p> <p>【方法】（例：都市環境をテーマにした場合）</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) テキストによる基礎知識の取得 (2) 都市の環境変化の要因を検討 (3) 情報収集と実証（想定した要因が妥当か、データを収集して実証） (4) 成果物（レポートなど）の作成 <p>【履修上の注意】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 成績評価は「出席状況＋成果物の提出＋履修姿勢」で行います。 (2) 理由の不明確な欠席には高いマイナス評価をつけます。 (3) 作業の多くはグループで行います。 (4) 成果物は確実に作り上げてもらいます。 <p>授業計画（スケジュール）：</p> <ol style="list-style-type: none"> (2年) 基礎知識の取得、ゼミ合宿（夏）、3年での調査内容の決定 (3年) 情報収集（調査・データ作成など）、ゼミ合宿（夏）、プレゼンテーション 			
使用テキスト	担当教員からのメッセージ		
※使用予定 （新年度に案内します）	都市や住宅、家賃といったキーワードが気になる人は、チャレンジしてください。ほどよく努力できる人なら、ゼミの内容についてくることができると思いますよ。		